

いこもの風

瀬戸内町立伊子茂小・中学校 児童生徒数							総計	令和3年 5月24日現在
小1	小2	小3	小5	中1	中2	中3	23名	
1	2	3	2	7	2	6		

【5月号】 令和3年5月24日発行 伊子茂小・中学校 TEL 76-0018

防災教育

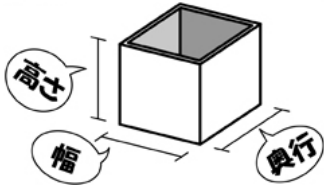
校長 櫻井 登

5月下旬の時候のあいさつに、「初夏の候」とあります。夏の始まりを感じさせる季節という意味です。しかし、奄美大島はもう梅雨入りしました。

この時期に気を付けなければならないことが、**大雨**に備えての防災です。先日の全校朝会で、「防災」について、子どもたちと考えました。

1時間に50mmの雨は、どれだけすごいのか？

「1時間に幅1mと奥行1mの立方体の容器に、50mmの高さまで雨が溜まるという雨の量です。」……と言われてもピンとこないと思います。そこで、人の受けるイメージで、表現してみました。時間雨量30～50mmが、「バケツをひっくり返したように降る雨」、50～80mmが、「滝のようにゴ-ゴ-と降り続く雨」です。土砂災害、浸水害、洪水災害も懸念されます。



今から28年前の「8・6 豪雨災害」では、死者47名を含む約百名の人的被害や1万戸を超える家屋被害、道路の寸断等がありました。古仁屋でも、10年前に時間雨量140mm以上（県1位、全国6位）の記録的な豪雨にみまわれています。大雨の怖さを改めて感じます。早めの避難が大切です。



また、**地震**についても考えました。

南海トラフ地震発生確率と被害予想についてです。今後30年以内に7～8割の確率で発生し、14200棟の家が全壊、津波による死者数は約200人といわれています。そして、下の図を示して問いかけました。

- ①強い地震が発生した後、どのような危険があるか。
 - ②安全な場所に避難するとき何を気を付けるか。
- (答)の例として、
- ①「余震があり、更に建物が壊れる」や「切れて道路に垂れ下がった電線に触れて感電する」等
 - ②「頭を保護しながら素早く避難する」や「道路に落ちている物に気を付けながら歩く」等が挙げられます。



4月13日(火)に実施した**地震と津波**想定避難訓練では、「津波てんでんこ」を取り上げました。周りに声をかけながら危険を知らせ、逃げる方向を叫ぶ等して、地域で協力して避難を促すという考えです。「てんでんこ」は「各自」という意味で、各各で命を守るために逃げまじようということです。

5月20日(木)は瀬戸内警察署と防犯協会から4名の方々を講師招聘して、**不審者対応**の避難訓練を実施しました。不審者が音楽室前通路から小学校の校舎に侵入したという想定で行いました。児童生徒は、担任の先生の誘導で、西家前の職員駐車場へ避難し、他の職員が不審者に対応するという流れでした。全体指導で、不審者役のお巡りさんから「子どもたちがいついなくなったら分らなかった。とても良い避難をしていた。」とお褒めの言葉をいただきました。避難訓練後、職員は刺股の有効的な使い方について、指導していただきました。講師の方々、本当に、ありがとうございました。



防災教育についてまとめると次のとおりです。

災害を他人事だと思わずに、自分や家族にも起こりうることだと考え、防災が自分や家族の命や生活を守るのに役立つと理解することが、自ら防災に取り組むことにつながります。

是非、防災について再確認してみてください。

集合学習会

4月28日(水)に三島中学校集合学習会、5月13日(木)に鎮西・実久地区小学校集合学習会をそれぞれ実施しました。

中学校集合学習会は、本年度赴任した諸鈍中の美術の先生の授業や「瀬戸内町の戦跡」についての出前授業、高校説明会を行いました。

小学校集合学習会は、低・中・高学年に別れて、国語や算数、図工、体育、外国語の授業を行いました。

普段の学校生活では、なかなかできない活動を通して、子どもたちは伸び伸びとしていました。

多様な考え方や価値観に触れることができ、見方・考え方が深まり、コミュニケーション能力も高まったことと思います。



6月の主な行事

- 2日(水) 中：第2回三島集合学習会
- 7日(月) 第1回学校評議員会
- 8日(火) 小5：鎮西・実久宿泊学習(～10日)
- 8日(火) 中：地区総体(～11日(金)まで)
- 14日(月) 町教育委員会学校訪問
- 15日(火) PTA保護者会
- 22日(火) 中：期末テスト(～24日(木)まで)
- 25日(金) PTA役員会
- 29日(火) 学級PTA、学校保健委員会

